

NOMA経営・人材開発フォーラム2017

未来をつくる経営の力

～「AI・ロボット」と「働き方改革」が競争力を高める～

基調講演



産業生態系の大変革と次世代のビジネスモデル

妹尾 堅一郎 氏

特定非営利活動法人産学連携推進機構 理事長

特別講演

ロボット(AI・IoT)を社会に活かす

富田 直美 氏

株式会社hapi-robot 代表取締役社長

誰もが働ける社会を目指して

渡邊 幸義 氏

アイエスエフネットグループ 代表

実践事例

生産性を向上する働き方と
モバイルワーク

カルビー株式会社

適材適所・業績貢献のための
人事データ活用法

株式会社サイバーエージェント

日時 平成29年11月30日(木) 10:00～16:50

会場 コクヨホール (東京都港区港南1丁目8番35号/JR品川駅前)

対象 ○企業・団体の人事部門、人材育成部門および経営企画部門の方々
○事業部門・技術部門等における管理者・リーダーの方々

開催にあたって

IoT・ビッグデータ・AI・ロボット等のテクノロジーが急速に進展しています。世界規模でこれらを活用したイノベーションが次々と生まれ、私たちの社会や生活を大きく変える未来が予見されています。日本においても、こうした時代に先駆け、ビジネスの変革・創出に挑戦する企業や個人に注目が集まっております。

また、私たちの働き方も大きな変革の中にあります。既にICTの浸透により、いつでもどこでも柔軟に働ける環境が整いつつあります。企業としても将来の人手不足を見据え、働き方を多様化する仕組みづくりが求められております。同時に、ひとが担う仕事の効率性・生産性を高める必要があり、ここでもAIやロボットの可能性に期待が高まっております。

本フォーラムでは、こうした時代のトレンドを背景に、今後の企業と人材が直面するテーマや課題にさまざまな角度から焦点を当ててまいります。技術の動向だけにとらわれるのではなく、社会や経営の変化を見極める理論、ビジネスやマネジメントの現場で役立つ実践論を多くご紹介したいと考え、プログラムを構成しました。この場がご参加される皆様にとって多くのヒントを得られる機会になることを願っております。

NOMA経営・人材開発フォーラム企画委員長 (TDK株式会社 常勤監査役) 米山 淳二

PROGRAM

開会あいさつ 10:00～10:10

一般社団法人日本経営協会 理事長

平井 充則

NOMA経営・人材開発フォーラム企画委員長 (TDK株式会社 常勤監査役) 米山 淳二

基調講演 10:10～11:40

産業生態系の大変革と次世代のビジネスモデル ～IoT・ビッグデータ・AI・ロボット時代の意味を探る～

IoT・ビッグデータ・AI・ロボット等の進展は、多様な分野において新たな価値を創出するイノベーションを次々に起こし、産業生態系は大きく変容しつつあります。中でもモノとサービスの関係は急速に多様化しています。

産業生態系が変わるとビジネスモデルが重要になります。技術があれば勝てる訳ではないのです。かつて「技術力で勝る日本がなぜ事業で負けるのか」という本でも詳しく述べましたが、その傾向は加速度的に進展しています。

今回の講演では、産業生態系の大変革をどう把握すべきかについて俯瞰的・長期的な視点から整理し、次世代のビジネスモデルを探り、日本企業の直面する問題・課題をお話します。

講師

特定非営利活動法人産学連携推進機構 理事長
一橋大学大学院商学研究科(MBA) 客員教授

妹尾 堅一郎 氏

慶應義塾大学経済学部卒業後、富士写真フイルム株式会社勤務を経て、英国国立ランカスター大学経営大学院博士課程満期退学。産業能率大学助教授、慶應義塾大学大学院教授、東京大学先端科学技術研究センター特任教授、九州大学客員教授等を歴任して現職。

現在も東京大学や一橋大学で大学院生を指導。内閣知財戦略本部専門調査会前会長、農水省技術会議議員ほか、多くの省庁委員や大手企業役員を兼務。ビジネスモデルと知財マネジメントに関する研究と教育を続ける。著訳書多数。中でもベストセラーになった『技術力で勝る日本が、なぜ事業で負けるのか』は題名が流行語にもなった。また、実践面では、秋葉原の再開発プロデュース等で著名。



特別講演 12:30～13:40

ロボット (AI・IoT) を社会に活かす ～ハウステンボス「変なホテル」のねらいと富田ビジョン～

ハウステンボス直営の「変なホテル」ではロボットの全面採用で顧客を楽しませつつ、徹底した自動化やロボット化によって世界最高の生産性を実現すると同時に、幸福、環境、ビジネスの「三位一体」の実現を目指しています。

今回の講演では、ハウステンボスのビジネスモデルや今後の事業構想・展開について触れながら、人と地球にやさしいこれからの事業のあり方(富田ビジョン)について解説します。また、戦略立案において大切なこと、ビジネスの成功に求められる条件、ロボット社会実現の可能性などについてもお話しします。

講師

株式会社hapi-robot 代表取締役社長

富田 直美 氏

E-Trinity (自己・自然節理・環境経済) による幸福世界の実現・持続をライフワークとし、教育、スポーツ、哲学、芸術、デザイン、メカトロニクス、ラジコンなど多岐に渡るマルチ・プロフェッショナル。外資系IT企業の日本法人社長など11社の経営に携わり、これまでに(財団法人)日本総合研究所理事、社会開発研究センター理事、アジア太平洋地域ラジコンカー協会初代会長等を歴任。また、現職として(株)エイチ・アイ・エス取締役CIO、ハウステンボス株式会社取締役CTOとして、H.I.S.グループのテクノロジー全般を統括。



実践事例① 13:50～14:35

生産性を向上する働き方とモバイルワーク

講師

カルビー株式会社 人事総務本部 人事制度改革担当

望月 雅人 氏

明治大学商部卒業後、1986年にカルビー株式会社に新卒で入社。同社東日本事業本部、北海道事業本部、関連会社の人事責任者を経験。現在は本社人事総務本部にて、働き方改革に向けた人事制度の改編を行っている。



カルビーでは、フレックスタイム制や早帰りデーの実施など、柔軟に効率よく仕事を進め、ライフワークバランスを推進する様々な取り組みを行っています。2017年4月からは、週に何度でも、好きな場所で働けるモバイルワークを導入しました。

カルビーの人事がめざす姿は「自立的に成長し成果を出し続ける人・組織」。その姿に向けた、「働き方改革」の取り組みについてご紹介します。

実践事例② 14:45～15:30

適材適所・業績貢献のための人事データ活用法

講師

株式会社サイバーエージェント 人材科学センター

向坂 真弓 氏

一橋大学社会学部卒業後、2003年にサイバーエージェントに新卒で入社。インターネット広告代理事業の営業、マーケティング、SEMコンサルを経験。現在は人事部門内組織である人材科学センターにて、人事データの収集や分析を行っている。



サイバーエージェントでは、2015年に人材科学センターを立ち上げました。自社開発ツール「GEPPPO（ゲッポポ）」で全社員のコンディションやキャリア志向をデータとして可視化・把握し、よりよい適材適所や課題発見につなげる取り組みを行っています。

一方で、人のことを数値データだけで語るのは危険です。当社が目指す、「血のかよった科学」としてのデータ活用法についてご紹介します。

特別講演 15:40～16:50

誰もが働ける社会を目指して ～「30大雇用」へのこだわり、変わっていく人と会社～

労働力不足が危惧されるなか、「誰もが働ける」ことが社会にとっても企業にとっても重要なことだと考えています。

アイエスエフネットグループでは、「30大雇用」と定義付けた、ニートやフリーター、障がいのある方、ワーキングプアをはじめ、一般的に就労が困難とされる方々を多数雇用しています。意欲を基準に社員を採用し、多様な働き方に配慮した社内制度や働く環境づくりに取り組み、誰もが安心して働ける社会の実現を目指しています。2016年からは「30大雇用」をスローガンに掲げ、さらなる雇用創造に取り組んでいます。

当グループが多様な人財をどのように受け入れ、個々人が強みを発揮できる組織づくりを目指しているのかについて講演します。

講師

アイエスエフネットグループ 代表

渡邊 幸義 氏

武蔵工業大学（現、東京都市大学）卒業後、日本デジタルイクイップメント株式会社入社。2000年、株式会社アイエスエフネットを創業、ITインフラエンジニアの派遣を中心に事業を展開してきた。現在は、障がい者就労支援、グループホームなどにも事業を拡大し、グループ全体で従業員は2,500人を超えている（2017年1月1日現在）。

著書に「社員みんながやさしくなった―障がい者が入社してくれて変わったこと」（かんき出版）、「雇用創造革命―ひきこもりも知的障がいも戦力にする執念の経営」（ダイヤモンド社）など、他多数。



企画委員会委員（順不同・敬称略）

企画委員長

米山 淳二 TDK株式会社 常勤監査役

企画委員

杉中 宏樹 アサヒビール株式会社 人事部長

松澤 巧 味の素株式会社 執行役員 グローバル人事部長

馬越 恵美子 桜美林大学 経済経営学系教授

真辺 文宏 鹿島建設株式会社 総務・人事本部 人事部長

松崎 毅 キッコーマン株式会社 常務執行役員 CHO

白岩 徹 KDDI株式会社 コーポレート統括本部 総務・人事本部 副本部長 兼 人事部長

口村 圭 コクヨ株式会社 経営管理本部人事総務部 統括部長

神田 秀樹 サントリーホールディングス株式会社 執行役員 人事部長

小向井 秀治 株式会社JR東日本パーソネルサービス 常務取締役 総合研修センター事業本部長

八子 誠 住友化学株式会社 人事部 担当部長

國分 裕之 全日本空輸株式会社 取締役執行役員ビジネスサポート推進部担当 人財戦略室長兼ANA人財大学長

忠津 剛光 株式会社大丸松坂屋百貨店 執行役員 業務本部 人事部長

吉見 彰夫 株式会社竹中工務店 東京本店 人事部長

遠藤 陽 東京ガス株式会社 人事部長

牛尾 文昭 株式会社東芝 代表執行役専務

柳井 克之 東レ株式会社 人事部長 兼 人事開拓室長

中村 吉隆 日本生命保険相互会社 人事企画部 部長

廣渡 清栄 日本たばこ産業株式会社 執行役員 人事担当

大見 正樹 野村證券株式会社 人材開発部長

江淵 泰久 株式会社ブリヂストン 人事・労務本部長

斎藤 毅 本田技研工業株式会社 人事部長 参与

矢竹 和夫 三菱重工業株式会社 グローバルHR部長

箭内 吉之 一般社団法人日本経営協会 常務理事 東京本部長

参加要領

所定の参加申込書に必要事項をご記入の上、郵送又はFAXにて下記へお申込み下さい。折り返し、参加券と振込口座名を記載した請求書をご派遣責任者宛にお送りします。
参加料は開催の3営業日前までに必ずお振込み下さい(経理処理の都合等で遅れる場合にはご一報下さい)。
振込手数料は貴社(団体)にてご負担下さい。

参加料

①ご参加者が1～4名の場合

本会会員	1名あたり 16,200円(うち消費税1,200円)
一般	1名あたり 21,600円(うち消費税1,600円)

②ご参加者が5名以上(～10名)の場合

本会会員	1社あたり 81,000円(うち消費税6,000円)
一般	1社あたり 108,000円(うち消費税8,000円)

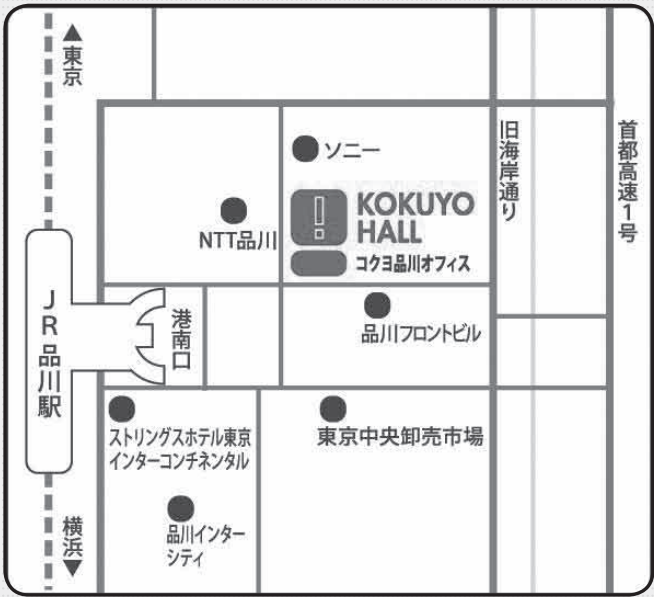
- 参加者10名までは、参加人数に関わらず上記金額といたします。
- 参加者10名を超える場合は、1名につき下記金額を加算します。
＜本会会員＞5,940円(うち消費税440円)
＜一般＞8,640円(うち消費税640円)

例:本会会員が13名参加→81,000円+5,940円×3名=98,820円

会場情報

コクヨホール

東京都港区港南1丁目8番35号 JR品川駅前
JR品川駅港南口(東口)を出て徒歩5分



お問合せ・お申込先

一般社団法人 日本経営協会

NOMA経営・人材開発フォーラム事務局

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8

TEL: (03) 3403-1716 (直) FAX: (03) 3403-8417

URL: <http://www.noma.or.jp>

- 電話による予約も承ります(その場合は後日必ず申込書をご送付ください)。
- 参加料は原則返金致しかねますので、参加者のご都合が悪くなった場合は、代理の方がご出席下さい。また、貴社(団体)のご都合にてご欠席の場合は、必ず開催3営業日前までにご連絡下さい。ご連絡のない場合は参加料をいただきますのでご承知おき下さい。
- 領収書は「振込金受領書」をもって代えさせていただきます。ご了承下さい。
- 参加者が定員を超えた場合、内容の変更がある場合には別途ご案内させていただきます。
- 天災などでやむなく中止・延期をさせていただく場合があります。中止・延期の場合は速やかにご連絡の上、全額返金させていただきます。
- 会場内での録音・録画、写真撮影はご遠慮下さい。

『NOMA経営・人材開発フォーラム2017』参加申込書

FAX 03-3403-8417

平成29年 月 日 申込区分: ☐ 会員 ☐ 一般

※11名以上でご参加の場合はコピーしてお使いください

(フリガナ)		(フリガナ)	
会社名(団体名) ※必須		派遣責任者 氏名	
所在地 ※必須	(〒) TEL () FAX ()	所属 役職	

	参加者氏名(上部にフリガナ)	所属・役職
1		
2		
3		
4		
5		

	参加者氏名(上部にフリガナ)	所属・役職
6		
7		
8		
9		
10		

※参加申込書にご記入いただいた情報は、下記の目的に使用させていただきます。

①参加券等の発送などの事務処理 ②セミナー・イベントなどの本会事業のご案内 なお、②がご不要の場合は□にチェックをしてください。 □不要